

## 市政懇談会でいただいたご意見・ご要望の回答について

6月23日から24日、26日から29日までに開催した、大仙市議会「市政懇談会」の回答についてお知らせいたします。いただいたご要望等のうち、各常任委員会で協議し、市長へも文書で通知したものについては、各担当課から回答をいただいておりますので、そちらもお知らせさせていただきます。  
※紙面の都合上、全てのご意見を掲載できないため、一部抜粋して掲載しております。

### 【当日の回答】

| No. | 地域                           | いただいたご意見  | 回 答  |
|-----|------------------------------|---|--|
| 1   | 大曲地域<br>(はなび・アム・内小友・四ツ屋・角間川) | 循環バスにほとんど乗客がいない。何のためにやっているのか。   | 令和2年度実績で延べ1万1,277人が利用している。この実績が適正かどうか市当局と議論をしながら、より良い在り方を検討していく。               |
| 2   |                              | 市民からの苦情に市職員が対応し、疲弊して辞める人もいると聞く。苦情に対応できるコンサルタントなどに市に登録してもらい、アドバイスをもらえる体制づくりが必要ではないか。 | 一部の業務では、対応してくれる業者を市で募集して、相談を受け付けている。   |
| 3   |                              | クマが里まで降りてくるのは、広葉樹を伐採して杉を造林し、その後、手入れもされず、クマのすみかを荒らしたからと考えるが、市で何か対策はあるか。              | イノシシの農業被害も増えてきており、クマ対策も含め、当局と検討していく。   |
| 4   |                              | 空き家対策について。  | 空き家対策では解体の補助金が増額されている。町内会が主体となってやる方法もある。                                       |
| 5   |                              | 改築する四ツ屋公民館の完成はいつか。なぜ、2階建てではないのか。  | 令和5年の秋ごろの供用開始を予定。少々小さくなるが、高齢者の利便性などを考慮して平屋建てにしている。                             |
| 6   |                              | 冠水の恐れのある大川西根地区よりも、国道13号の北側にある杉本地内の方が企業団地に適しているのではないか。                               | 高速道路に近いなど、業者の希望で大川西根地区に造成した。団地は、水害が来ても対処できるよう1メートルのかさ上げをしている。                  |
| 7   |                              | 新型コロナウイルス対策として、国の地方創生臨時交付金を、市ではどのようなことに使ったのか。                                       | 売り上げが減少した店舗等に対する補填や、これから始まるお得なプレミアム付地域商品券事業等に使っている。                            |
| 8   |                              | 水害対策のため、親水公園のところに常設の排水ポンプを設置してもらいたい。  | 昨年、市で大きなポンプ車を購入した。今後は国・県・市のポンプ車で対応していく。  |
| 9   |                              | 女性議員や若い議員が非常に少ない。せめて半分くらいになるように検討していただきたい。  | 現状では、議員になろうとする女性や若い人はなかなかいないが、各地域で議員のなり手を育てるようにしていきたい。                         |
| 10  | 神岡地域                         | 農業に関する移住定住後の施策が、他市に比べて薄い。移住前に手厚い施策ができないか。   | 移住定住後の支援として、子育て支援が必要だと考えているが、我々の気付かない不足している部分があればご教示願いたい。                      |
| 11  |                              | 国・県・市で高収益作物事業を進めているが、どんなことをすると農業で飯が食えるのか、どうすると国の補助金がもらえるかの手助けがほしい。                  | ほ場整備も進んでいるが、高収益作物を何にするかは進んでいない。大仙市にあった作物のブランド化が必要である。                          |
| 12  | 西仙北地域                        | プレミアム付商品券について、購入に対する平等性については議論されたのか。  | お金のある人は購入できるという観点からは不平等だと思うが、この事業は地元の商店を応援できる方は購入して協力しましょうという趣旨であり、考え方はいろいろある。 |
| 13  |                              | 物価高騰に対する農家への補助制度はあるか。   | 大規模化やスマート農業の支援に軸足が向いており、一般農家への対応はいまいちと感じる。肥料高騰など状況に応じて検討していく。                  |
| 14  | 中仙地域                         | 仙北地域にサッカー場（多目的人工芝グラウンド）を整備する一番の目的は何か。   | 市に本格的なサッカー場がないため。また、サッカーだけでなく、多目的に活用していく考え方で建設がされている。                          |
| 15  |                              | 現在、中学校の部活動が変わろうとしているが、市でも何か方向性があるのか。  | スポーツ庁では、2023年から土日の運営を地域に移行したい旨発表している。その影響などの研究をし、子どもたちのことが最優先となるようにしていく。       |
| 16  |                              | 洪水発生要因として、河川にできた中州があるが、しゅんせつなどできないか。  | 中州など堆積物の除去について県と協議しているが、なかなか実施されない。議会も協力して要望していく。                              |
| 17  |                              | 除雪について、終了時間が決まっているためか、業者に急がせる傾向にあり、事故の引き金にならないか心配する声がある。                            | 事故を未然に防ぐため、通勤・通学時間前に終了するよう、業者をお願いしている。中仙地域の中でも降雪量が違うので、センサーの増設を要望している。         |
| 18  | 協和地域                         | 水田活用の見直しについて、県ではアンケートを取り、要望等を国に挙げていくとしているが、市でも地域の状況を鑑みて国に要望してほしい。                   | 議会としても注目しており、国にこの件に関して意見書を提出している。  |
| 19  |                              | 消防団員の報酬は全額各団員の通帳に振り込みになっているが、分団に対して運営費というものがなければ、今後の運営が成り立っていかないのではないか。             | 団の運営を、団員個人の報酬で賄うのはおかしいので、運営費を市の方で負担できないか検討していく。                                |
| 20  | 南外地域                         | 山間部のため、田んぼの復元は無理なところが多い。解決策としてため池にすることはできないか。                                       | 数年前から、減反地にダムあるいはため池の造成を国会議員にお願いしている。   |
| 21  |                              | 南外小学校の県道の改修について。  | 既に設計調査は終わっている。来年早々には工事を発注することに決まっている。  |
| 22  |                              | 花火業者宿泊施設を建設するよりも、廃業した温泉施設を改修した方がお金も掛からず、市民に貢献できるのでは。                                | 花火業者宿泊施設に市からお金を出すことはない。商工会議所では温泉施設を改修するよりも、宿泊施設建設の方が安価と判断したのではないか。             |
| 23  | 太田地域                         | 新規就農者へ、しっかりとしたサポートをしていただきたい。  | 新規就農者研修施設を中心に、県外からも人材を取り入れていければと考えている。市でも補助制度で支援している。                          |
| 24  |                              | 選挙終了後に大曲庁舎に投票箱を届けるが、駐車場が狭く、利用しづらい。仙北ふれあい文化センターを利用したらどうか。                            | 仙北ふれあい文化センターを利用できるかどうか、可能性も含めて検討していきたい。  |
| 25  |                              | 中里温泉の改修について、地元が望む宿泊と宴会の機能は残してもらいたい。   | 議会としても地元が望んでいるものについて取り組んでいくが財政状況等によっては我慢していただくこともある。                           |

【行政側からの回答】

| No | 地域   | いただいたご意見  | 担当課            | 回 答   |
|----|--|---|----------------|---|
| 1  | 大曲地域<br>(はなび・<br>アム・<br>内小友・<br>四ツ屋・<br>角間川) | 社会福祉協議会の予算収入は人口からすると少なく、会費納付率は農村部が高く、町部は低い。福祉はみんなに平等なので、税金である市の予算から補填してもらいたい。 | 社会福祉課          | 社協会費や共同募金等の配分金を原資として実施している事業は、あくまでも民間の法人である社協の自主事業ですので、市予算を充当すべきものではないと考えています。なお、市では、社協の地域福祉部門の職員人件費に対しては、補助金を交付しています。                |
| 2  |  | 四ツ屋のほ場整備にあわせて市道拡幅ができなければ、子どもたちの安全のためにも市単独で実施してもらいたい。                          | 農林整備課<br>道路河川課 | ほ場整備事業により道路用地を創設換地する場合については、ほ場整備推進協議会からの要望を踏まえ、国及び県に確認してまいります。また、市道拡幅については、その結果に基づき検討してまいります。   |
| 3  |  | 去年はあった角間川の発泡スチロールの回収拠点、今年は無くなった。再度拠点を設けるよう配慮してもらえないか。                         | 生活環境課          | 発泡スチロールの拠点回収は、今年度も6月と10月の2回に分けて実施しています。角間川地区については、10月に角間川公民館で拠点として実施しました。   |
| 4  |  | 角間川の諏訪神社がサギのコロニーになっており、ふんや鳴き声の苦情がすごい。市ではどのような対策を考えているのか。                      | 生活環境課          | サギ類は、鳥獣保護法により許可なく捕獲することはできないため、敷地の管理者等と相談・協力しながら、枝の刈り払いや樹木の伐採等により、営巣しにくい環境の整備などをお願いしています。   |
| 5  |  | 角間川小学校の存続について、現段階の状況を教えてほしい。  | 教育総務課          | 教育委員会では、中仙地域と太田地域の学校統合の検討を進めていますが、そのほかについては、これらに一定の目的が立った後に検討したいと考えており、角間川小学校に関連した学校統合の計画はありません。                                      |
| 6  |  | 災害時の対応のため、給水車を最低でも各地域に1台配備してほしい。  | 経営管理課<br>水道課   | 災害時は、給水車2台、車載式給水タンク12基、設置型組み立て式給水タンク4基を備え、市内各地域への災害・断水時の対応体制を整えています。(総水量275トン)<br>また、大規模・長期的な災害には、日本水道協会の相互応援体制を整えています。               |
| 7  | 神岡   | 外国人労働者の受け入れ窓口を設けたらどうか。  | 交流振興課          | 本年7月から交流振興課内に「だいせん外国人窓口」を開設しました。この窓口では、在住外国人からの就労に関する相談も受けており、ハローワーク等への紹介も行ってまいります。   |
| 8  | 西仙北  | ウクライナ問題で小麦粉が高騰している。コメ余りの中、米粉生産に対する助成が必要ではないか。                                 | 農業振興課          | 市では、米価格の安定化に向け、需要に応じた米生産を推進しており、米粉需要の増加に合わせ、県やJA等と連携しながら必要とされる施策に取り組んでまいります。  |
| 9  |  | LED防犯灯の照射範囲が、従来のものよりも狭いので、検討が必要ではないか。   | 道路河川課          | LED電球は、年々性能が向上しており、照射範囲が改善されています。不点灯になったものから随時更新し、照度を確保してまいります。(従来の水銀灯は、生産中止になりました。)  |
| 10 | 南外   | 社会福祉協議会の経営改善(赤字体質の解消)と、会費の用途の公開について。  | 社会福祉課          | 社協では、昨年度、経営改善計画を策定するなどの取り組みが行われています。会費の用途は、ホームページや広報などでお知らせしておりますが、より分かりやすい説明に努めていただくなど、今回のご意見の内容をお伝えします。                             |
| 11 |  | 平成30年に質問したオンブズマン制度の設置や連絡会への参加はどうなっているか。                                       | 総務課            | 本市では、市民の皆さまが相談しやすい体制を整備した上で、行政に対する苦情等の解決に向けて対応しています。こうした取り組みの一つとして、令和3年度には、行政上の相談や総合的な案内を行う市民相談室を開設しており、今後も市民の皆さまに寄り添った行政運営に努めてまいります。 |
| 12 | 太田   | ほ場整備で、創設換地で市道拡幅する予定だったが、農地中間管理機構の関係で創設換地ができない。拡幅部分を市で買収できないか。                 | 農林整備課<br>道路河川課 | 創設換地については、ほ場整備事業推進協議会からの要望を踏まえ、国及び県に確認してまいります。また、市道拡幅については、その結果に基づき検討してまいります。   |